

アレムコ社の高熱伝導性接着剤

# アレムコボンド 568

「アレムコボンド 568」はアメリカのアレムコプロダクツ社が開発した新タイプの高熱伝導性エポキシ接着剤で、主に、電気、電子及び熱交換器等のアルミ又は銅部品やヒートシンクの接着に使用されています。耐熱上限は204°C。

## 特 性

「アレムコボンド 568」はエポキシにアルミの微粉末を混合したベース剤と硬化剤を1:1に混合して用います。機械的強度と熱伝導性が高いので熱交換器等への使用が最適です。熱伝導性は9.0 Btu-in/hr-ft<sup>2</sup>-°F、引張り強度は2,500 psi、絶縁力は80 volts/milです。

「アレムコボンド 568」は銅、アルミニウム、スチール、ガラス、セラミック及びポリイミドとその混合品などに対し素晴らしい接着性を示します。また、広範囲の酸、塩、及び有機溶剤に耐性があります。

「アレムコボンド 568」はNASAのアウトガステスト ASTM E-595に合格しているので、アウトガス物質を気にする宇宙航空機メーカーには魅力ある製品です。

## 用い方

ベースと硬化剤を1:1(重量比)の混合比でよく練り合わせ、塗布した後、常温で24～48時間自然乾燥させるか、93°Cで2時間焼成することで硬化します。冬場、粘度が高くなり混ざりにくくなるので、30～40°Cぐらいに温めてから使用すると混ぜやすくなります。

## 荷 姿

50ml 入りカートリッジ。  
1ペイント(約500ml)と  
1クオート(約1リットル)の  
広口缶入り。  
(いずれも硬化剤とベースを  
合せた総量です。)



熱交換器用銅パイプを放熱板に接着